

2023年4月21日

各位

会社名 東洋合成工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 木村 有仁
(コード番号:4970 東証スタンダード市場)
問い合わせ先 取締役 経営企画部長 渡瀬 夏生
電話番号 03-5822-6170

千葉工場 感光材開発分析棟 地鎮祭を実施

東洋合成工業株式会社（代表取締役社長 木村有仁）は、千葉工場 感光材開発分析棟の建設開始にあたり 2023年4月18日に地鎮祭を執り行いましたのでお知らせいたします。

感光材開発分析棟の新設により、今後見込まれる持続可能な社会のインフラを担う電子デバイス・半導体の需要拡大に対応し、高度化、難易度が増す研究開発体制の強化、最先端の品質を満たす分析体制の強化を目的とした研究開発・分析能力が拡充します。加えて、これまで同じ敷地内に分散していた研究開発と品質管理の機能を一カ所に統合し、製品開発から分析、量産までを集中的に行うことで、さらなる生産性向上と機能の融合による知の創出を目指します。

当日の地鎮祭には、工事、施工関係者、千葉県庁・東庄町役場の方々、社内関係者など約50名が参列し、工事の安全を祈願しました。

今後、2024年4月の完成に向けて、安全を最優先に建設を進めてまいります。

■地鎮祭の様子



■建設の目的

電子デバイス・半導体の中長期的な需要拡大への対応としての能力増強に加え、多様な視点の相互作用による新たな発見と技術者の能力を引き出す知の創造の場となり、働く社員が未来志向で創造性を発揮できる職場環境を目指します。

■外観デザインコンセプト

Crystallize(クリスタライズ) 知の結晶・知の集合体

外装は石と木材という別の材質を組み合わせ、先端半導体を支える技術や品質を進化させていく当社の目指す研究開発の姿と、東庄町の豊かな緑や自然と調和しながら持続可能な社会を実現する姿を表現しています。

<外装イメージ>

外壁は石の輝きと木の温かみを調和させ、一部にきらりと光る素材を組み合わせ、当社のマテリアルイノベーターとしての先進性と自然豊かな東庄町とが優しくつながるデザインとします。



<内装イメージ>

部門の垣根を超えたコミュニケーションを促進するために全フロアにオープンスペースを設け、アイデアを深める場として活用する予定です。



■感光材開発分析棟の概要

名称	千葉工場 感光材開発分析棟
所在地	千葉県香取郡東庄町宮野台1番51号
施設の種類	研究開発・分析施設
敷地面積	916 m ²
延床面積	4,495 m ²
投資金額	約 30 億円
工事期間	2023 年 4 月～2024 年 4 月(予定)
資金計画	自己資金及び借入金を充当予定

以上